

2016年4月24日(日)朝10:10～  
4月第4共同主日礼拝式説教

復活節第5、教会総会等  
日本アライアンス庄原基督教会

# 説教題：聖なる信仰の上に自分を 築きあげなさい

聖書:ユダ 全1章20～25節

＜口語訳＞

新約聖書385頁

ユダ 全1章20～25節

＜新共同訳＞

新約聖書451頁

ユダ 全1章20～25節

＜新改訳第3版＞

新約聖書475頁

ユダ 全1章20～25節＜塚本訳＞

新約聖書775～776頁

主題:主イエス様から賜った聖霊の導き

によって主の弟子たちは、主の名による  
神の罪からの救いを宣べ伝えたように、  
私たちも、福音を伝えたい。

序論；

- ◇ユダ書は、エルサレム教会の議長ヤコブの弟ユダが、教会の人々を迷わせた偽教師、偽指導者に迷わされないよう、警告を与えた書簡です。
  - ◇ユダ書全1章5～13節は、3～4節の偽教師の忍び込みの提示と神信仰を持つての偽教師との戦いの勧めに対し、旧約聖書に登場した神に対して「不敬虔ἀσεβής」な人々を実例として提示して警告し、14～19節は、偽教師の誘惑と戦うことを勧めています。
  - ◇ユダ書1章20～23節は、偽教師の誘惑に陥らず、神の御子イエス・キリスト様の神聖な信仰の上に自分の信仰と生活を築くように勧めている箇所です。
- ⇒「神聖な信仰」は、神の御子イエス・キリスト様を復活させ、神の栄光の御座に導き、神の永遠の大祭司として、神の御国を保証して下さる「神の御子イエス・キリスト様の聖霊」を通して、神に聴き従うです。
- ⇒偽教師は、「不敬虔ἀσεβής」で、「神礼拝をする σέβομαι」心を持たず、神に逆らわせます。

本論；

◇本日、ユダ書全1章14～19節から主の使信に思い・心をとめます。

◆ユダ全1章20～23節；ユダは、神の御子イエス・キリスト様の神信仰の上に自分の信仰と神中心の生活を築くよう求めています。

◇20～23節；塚本訳◆訓戒

「20 しかし愛する者よ、君達は君達の最も聖なる信仰の上に自分を築き上げ、聖霊において祈り、

21 (賜わった)神の愛において自分を守り、永遠の生命に入れ給う私達の主イエス・キリストの憐憫を待ち望め。

22 そして疑っている或る人々を説得し、

23 或る人々を『火から引き出(すように)して』救い、また或る人々には同情せよ、(しかし)畏れをもって——肉に『穢された下着』すら憎め」と、ユダは語っています。

◇20～21節；「君達は君達の最も聖なる信仰の上に自分を築き上げ、聖霊において祈り」、  
「神の愛において自分を守り、永遠の生命に入れ給う私達の主イエス・キリストの憐憫

を待ち望め」と、ユダは語っています。

⇒ユダ書1章20～23節の表題を「**訓戒**」、「**警告**」、また後半を「**励まし**」、「**奨励**」等としていますが、Ⅱペテロ2章と似たことばがあることから**偽教師**の誘惑に陥らないように**訓戒**や**警告**を認めたと理解されますし、後半の**22～23節**では、**神聖な信仰**を前面に出して、「**疑っている或る人々を説得し**」、「**疑っている或る人々を『火から引き出(すように)して』救い**、また**疑っている或る人々には同情せよ**、(しかし)**畏れをもって——肉に『穢された下着』すら憎め**」と、ユダは**勇敢な神聖な信仰**を働かせるよう励ましているのです。

⇒要約すると、①**聖霊による祈り**(20)、②**神の愛の中に生きる信仰告白**(21)、③**神の救いに与らせて下さる神の御子イエス・キリスト様の憐憫を待望する**(21)、④**神の真実を疑い、肉欲の生活する中にある人々への同情**(22～23)が、ユダが**偽教師の誘惑**に直面しているユダヤ人キリスト者への期待のことばの内容です。

⇒「**不敬虔**ἀσεβής」者を裁かず、救出してほしい。

◆ユダ全1章24～25節;ユダは、ユダの福音に耳を傾けた人々が、神の御前に瑕なき者として立てるように、祈り、祝福しています。

◇24～25節;塚本訳◆頌栄

「24 踏み外すことなきよう君達を見守り、(最後の日)瑕無き者として喜びをもってその栄光の前に立たせ得給う方に、

25 我らの救い主(なる)唯一の神に、我らの主イエス・キリストによって、永遠の前も、今も、永遠の後までも、栄光、稜威、権力の帰せんことを！ アーメン」と、ユダは語っています。

◇24～25節;「踏み外すことなきよう君達を見守り、(最後の日)瑕無き者として喜びをもってその栄光の前に立たせ得給う方」＝「我らの主イエス・キリストによって」、「我らの救い主(なる)唯一の神」に「永遠の前も、今も、永遠の後までも、栄光、稜威、権力の帰せんことを！」との深い祈りを込めた祝祷を、ユダは認めています。

⇒神聖な信仰に生きる人々だけが、神の愛と神信仰者への真実を知る者で、神は期待する。

## 結論；

- ◇神は、変わらない愛と思いやりの神です。
  - ◇ユダ書は、エルサレム教会の議長ヤコブの弟ユダが、教会の人々を迷わせた偽教師、偽指導者に迷わされないよう、警告を与えた書簡です。
  - ◇ユダ書全1章5～13節は、3～4節の偽教師の忍び込みの提示と神信仰を持つての偽教師との戦いの勧めに対し、旧約聖書に登場した神に対して「不敬虔ἀσεβής」な人々を実例として提示して警告し、14～19節は、偽教師の誘惑と戦うことを勧めています。
  - ◇ユダ書1章20～23節は、偽教師の誘惑に陥らず、神の御子イエス・キリスト様の神聖な信仰の上に自分の信仰と生活を築くように勧めている箇所です。
- ⇒「さばき」は、神の専権事項ですが、同時に、神の恵みも、神の専権事項です。
- ⇒「神礼拝をするσέβομαι」に全力を注ぎたい。
- ⇒そのためには、「神の御子イエス・キリスト様の聖霊による神聖な信仰」の上に自分の神信仰を築くことの神の期待に気づきたい。